

街なか通信 かたりば 第1号

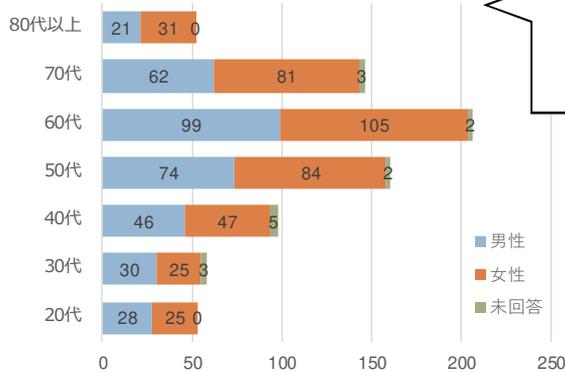
町では、今年度から街なかの活性化を図るための各種取組みの検討を開始しました。今回、町内在住の20歳以上の方、2,000名を無作為に選定してアンケート調査を実施したので、その結果をお知らせします。

アンケート調査結果

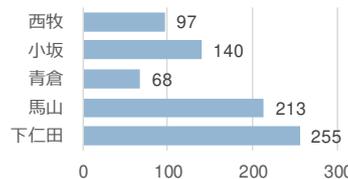
回答数：773件（内訳：男性 360件、女性 398件、性別未回答 15件）

回答率：38.65%

回答者の属性情報



回答者の居住地（地区別）

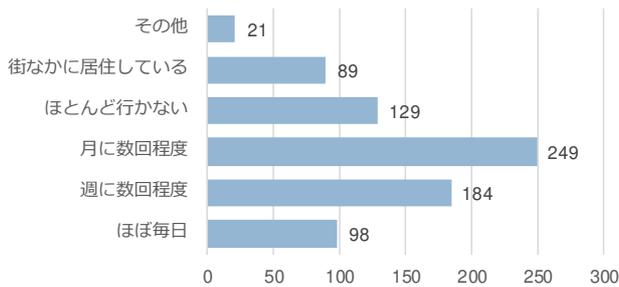


幅広い世代から回答あり

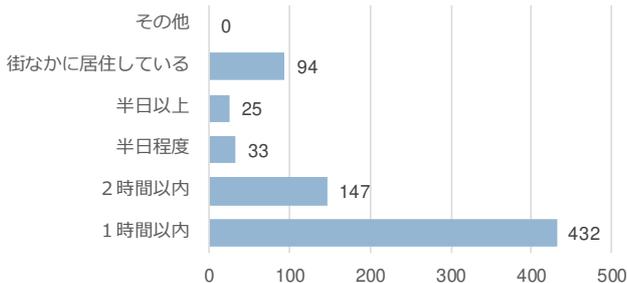
- ・アンケート調査票送付者のうち、60代以上は約半数の方から回答がありました。一方、20～50代の回答率は27～36%でした。
- ・回答者の男女比は各年代ともほぼ1対1でした。
- ・下仁田地区居住者だけでなく、他地区の居住者からも多くの回答がありました。

回答結果

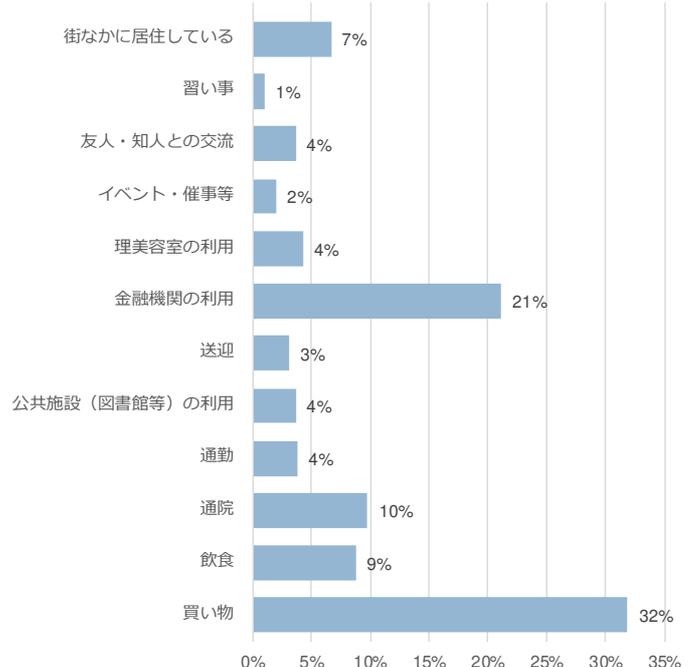
Q1:街なかへの訪問頻度



Q2:街なかの滞在時間



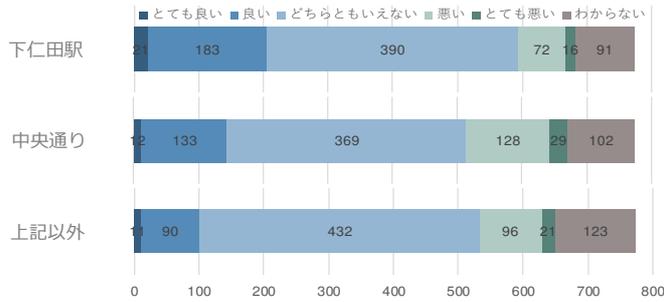
Q3:街なかへの訪問目的



街なかの訪問目的は買い物や金融機関利用が多く、滞在時間は「1時間以内」が半数以上

- ・訪問頻度は“月に数回程度”が最も多く、次いで多いのは“週に数回程度”でした。
- ・訪問目的として“通院”や“飲食”をあげた方もそれぞれ1割程度いました。

Q4 街なかの雰囲気

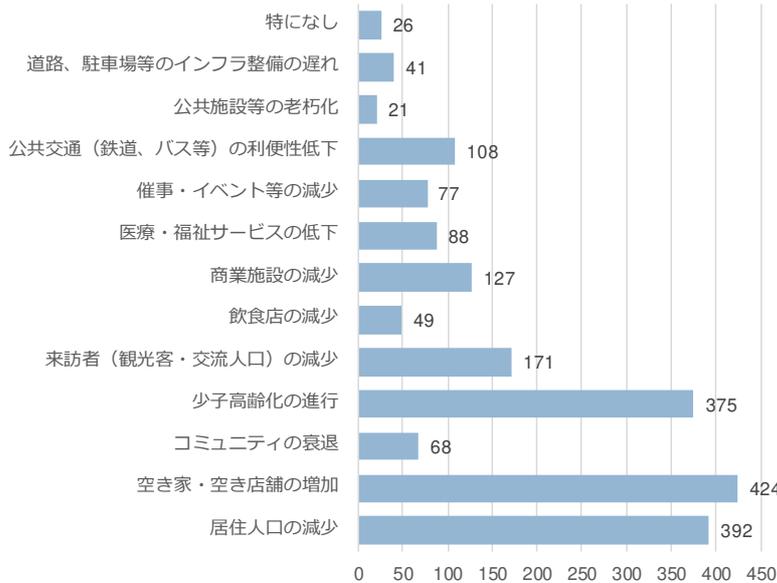


○今の雰囲気が良いという声の一方

で手を加えた方が良いという意見も

- ・どの場所も「どちらともいえない」と回答した方が最も多くなりました。
- ・下仁田駅や中央通りについては、「今の雰囲気が良い」という声が多く出ましたが、（建物の老朽化が進んでいるため）“雰囲気は残しつつも、手を加えた方が良い”という意見も一定数寄せられました。

Q5 街なかの課題(3つまで回答可)

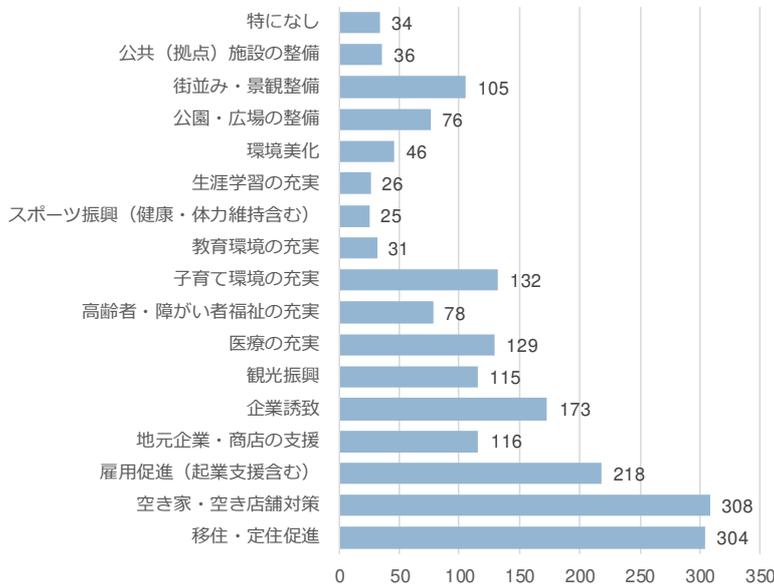


○空き家・空き店舗、居住人口

の減少、少子高齢化が課題 トップ3

- ・年代や性別問わず「空き家・空き店舗」「居住人口の減少」「少子高齢化」を課題にあげる方が多くいました。
- ・次いで「来訪者の減少」「商業施設の減少」という結果になりました。
- ・「公共交通」や「医療・福祉サービス」についても幅広世代から回答がありましたが、こちらは女性からの回答が多く見られました。

Q6 今後重点的に進めるべき取組み(3つまで回答可)



○空き家・空き店舗対策、移

住・定住や雇用促進に対する 意見が多い

- ・Q5の課題を受けて、重点的に進めるべき取組みトップ3は「空き家・空き店舗対策」「移住・定住促進」「雇用促進」になりました。
- ・その他、高齢者からは「医療の充実」や「高齢者・障がい者福祉の充実」に対する意見が多く出ましたが、若い世代（特に女性）からは「子育て環境の充実」や「街並み・景観整備」に対する意見が多く出るなど、性別や世代によって違いが見られました。

Q7 その他、意見等

- ・自由意見として、子供から高齢者までが利用できる「公園・多目的広場」や「休憩・憩いの場」を求める声が非常に多く寄せられました。
- ・その他、住民視点では「商業施設（スーパー等）」や「文化・教育施設（図書館等）」、観光視点では「観光案内施設」や「案内板（サインや標記方法）」に関する意見が多く寄せられました。



今後、地域住民との意見交換等を通じて、アンケート調査結果の深掘りを行うなど、ニーズを踏まえた活性化策の検討を進めていきます。